

第2回 運営推進会議 議事録

平成 29 年 3 月 27 日

事業所名	デイサービスセンター「笑くぼ」		
開催日時	平成 29 年 3 月 16 日 (木) 14 時 30 分 ~ 15 時 30 分		
開催場所	デイサービスセンター「笑くぼ」フロア隣接の部屋		
参加者	利用者 1 名	知見を有する者 1 名	
	利用者家族 1 名	地域包括支援センター 1 名	
	地域住民の代表 1 名	事業所職員 2 名	
議題	1 運営状況 2 ヒヤリ・ハット報告 3 前回の課題 4 運営委員からの質問 5 運営委員からの評価 6 今後の課題		
会 議 録			

1 運営状況

○ 利用状況

利用定員17名のところ、一日平均利用人数16.4名。
利用者人数35名(男性7名、女性28名)。
要介護度4の利用者が、前回会議時の1名から4名と増加。

○ 月行事

10月:外出(フルーツ公園)・ハロウィンイベント 11月:創作活動(秋のしおり)・紅葉狩り
12月:クリスマス会 1月:初詣(武田神社)
2月:節分行事 3月:ひな祭り会
季節を感じてもらうため外出する機会を設けている。感染症流行のため、今年に入ってから初詣のみ。
3月下旬には、これまでになかった新しい試みとして、専門家を招いた音楽療法を予定している。

2 ヒヤリ・ハット報告

ヒヤリ・ハット 1件

《内容》

女性・87歳。昼食後、両手引きにてトイレ移動中、利用者が急に職員の片手を離しその場に勢いよく座ろうとしてしまい、支えきれずに尻もちをつくような状況になってしまう。

《対応》

看護師が痛みの有無、程度、状態観察を行う。管理者から、ケアマネジャー及びご家族に報告。痛みの訴えがなかったことや、可動に問題が見られなかった為デイ利用継続とする。帰宅時まで状態変化なし。送迎時ご家族に午後の様子を報告し、自宅での様子も注意して観察していただく。翌日も利用日であった為、継続して状態観察をさせて頂く。

《今後の対応》

突発的な行動が考えられる利用者様であったにも関わらず、職員の意識が足りなかった為、再度全職員で個々の利用者様の状態確認を行う。介助時は危険が無いか他の職員も確認し、お互い声を掛け合える環境作りを行う。

3 前回の課題

(1) ご家族との連携・情報共有

連絡帳の形式はそのまま、内容をより細かく記入するように。
送迎時には利用状況の伝達、ご自宅での様子の聞き取りにも重点を置く。

(2) 男性利用者の入浴の順番

ご利用者様の要望を聞きながら、出来る限りの対応をさせて頂いている。

(3) 避難所の確認

南中学から自治会館に変更。デイ内の掲示の変更および、ご利用者様にも周知を図る。

(4) 消火栓の確認

デイ最寄の消火栓の場所を確認。

(5) 地域の方へ情報発信

”グットケア一便り”発行。2月20日の山梨日日新聞折り込みチラシで甲府市内に9,500部配布。

(裏面に続く)

(6) AEDの設置

住吉5丁目にあるグットケア本部隣接「グットハウスすみよし」にAEDを設置。
インターネットの『日本全国AEDマップ』サイトに登録。

(7) 地域への還元

甲府市役所へ歩行器3台、車椅子7台を寄贈(歩行器は来庁者用。玄関脇に設置)。
4月にオープンする住吉悠遊館に車椅子を1台寄贈。

(8) 利用者の作品発表

甲府市主催『介護健康フェア』において利用者様作成品を市役所本庁舎1F展示スペースへ展示。
近い将来に山梨県民文化ホール(コラニー文化ホール)回廊に作品展示を検討。

4 運営委員からの質問

- | | |
|------------------------|---|
| ・ AEDの準備はされているか。 | グットケア本部隣接「グットハウスすみよし」に設置。笑くぼに直ぐに持ってこれる体制にしてある。いざという時に使えないと困るので定期的に研修することも検討。 |
| ・ ボランティアを招いた交流は行っているか。 | フラダンス・フルート演奏・民謡など、職員の知り合い等を通じて交流している。
→ 消費生活センターが行っている電話詐欺問題の寸劇の評判が良いので検討してみてもどうか。 |
| ・ 地域の行事に何か参加しているか。 | 前回の会議で地域の文化祭等の開催予定はないとのことだったので現状参加していない。
→ 伊勢文化協会の展示の情報を教えて頂く
(5月第1週伊勢小学校) |

5 運営委員からの評価

(利用者)

職員は皆やさしさ・おもいやりがある。「笑くぼ」という名前通り、笑いが絶えないとても楽しいところ。

(利用者家族)

春夏秋冬のイベントなどで五感を刺激して認知症が進行しないように様々な手助けをして頂いている。
事故を100%なくすということは難しいが、職員が意識することで大きな事故にはつながらないと思う。

(地域住民の代表)

非常災害時、利用者の安全確保が完了した段階で、笑くぼが地域に協力できることがあるか考えてみてほしい。

→ 集団避難訓練の日程等を教えて頂く(5/21(日)青葉スポーツ広場)。計画が出来たら案内を頂く。

(知見を有する者)

前回課題に早速取り組まれていて対応が早い。デイでは利用者に対して「動かないで！」と抑制するような声掛けがなく、職員が連携し見守りと抑制のバランスが良い環境になっているのは素晴らしい。

(地域包括支援センター)

地域に還元する様々な取組みをされて「住吉にグットケアあり」となってきた。まずは利用者のことを考えるのが第一。副題として地域に根ざした活動を進めるよう、これからもがんばってほしい。

6 今後の課題

○ 利用者の作品展示

ご利用者様の作品を、コラニー文化ホールや今回教えて頂いた伊勢小学校へ展示できるか検討する。
また利用者みんなで展示した作品を見に行くことも検討する。

○ イベント・レクリエーション

消費生活センターが行っている電話詐欺問題の寸劇をはじめ、ボランティアの方を招いたイベントを企画・検討する。

○ 水害・土砂災害への備え

水害・土砂災害を考慮した非常災害対策を見直す。地域の避難訓練への参加を検討し、いざ何かあったとき落ち着いて対処できる体制作りを行う。

○ 「見る」の徹底

職員が利用者を「見る」ことを再度徹底して、大きな事故に繋がらないよう意識する。